

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 大阪府立春日丘高等学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例: 小中高一貫)
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒567-0031
大阪府茨木市春日2-1-2

E-mail _____

Website http://www.osaka-c.ed.jp/kasugaoka/zen/index.html

幼児児童生徒数 男子 457名 女子 502名 合計 959名
幼児・児童・生徒の年齢 15歳～18歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

(記入例)

当校は、「世界の持続発展に貢献できる力をはぐくむ」を学校理念として、ESDを地球的視野の育成と捉え、ESDの実践を通して国際交流・国際協力の視点および協働と協働の精神の育成を目標とした。

具体的には、東北被災地支援、国際交流を柱に、①減災・防災に係わる活動、②国際交流に係わる教育、③国連に係わる学習、④他のユネスコスクールや様々な諸団体と協力し、社会と係わる学習を行った。

① 防災・減災に係わる活動

2012年より継続して行っている、東北被災地(宮城県気仙沼市・岩手県陸前高田市)へ復興ボランティアとして生徒を派遣し、事前・事後の学習として、阪神淡路大震災のフィールドワーク、大阪市防災センターでの学習など、減災・防災の学習を実施。文化祭でのパネル展示や、学校集会での報告・講演などを実施している。

② 国際交流・国際協力に係わる教育

姉妹校であるアメリカ合衆国ミネアポリス市サウスウエスト高校との交流（相互訪問・ホームステイ・授業交流等）を実施している。また、アジア・ユースなどに参加し、アジアの高校生・大学生と交流し、ESD について互いの課題を認識し、アジアの一員として将来に向けた活動・目標設定等の会議やワークショップに参加している。このほか、ネパールへのスタディツアーなどにも参加し、国際的な視野を学ぶようにしている。

③ 国連に係わる学習

ユネスコ・青少年のスピーチコンテスト出場や、模擬国連会議活動に取り組み、第1回高校教育模擬国連へスタッフとして生徒を派遣、全国高校模擬国連大会へのエントリー・出場などを通して、国連活動の理解や日本の役割などについて学習している。

④ 他のユネスコスクールや様々な諸団体と協力し、社会と係わる学習

①～③と関連しているが、①東北支援活動においては、大阪の他のユネスコスクールと共同で事業を実施しており、他校の生徒との交流や、現地のユネスコスクールと交流を行うことで、様々な団体と自身の活動実践との関連性を学んでいる。また、地元自治体である茨木市や連携先である姉妹校・姉妹都市、地域の国際交流団体、福祉施設、地域の企業と連携し、社会的な連携の重要性を学んでいる。③ACCU や各地のユネスコ協会との企画に直接参加し、生徒たち自身で諸団体との打ち合わせや会議に参加するようにしている。12月には、ワンワールドフェスティバルで報告・交流会に参加している。



① の写真（復興支援活動中）



② の写真（アジア・ユース）



③ の写真（模擬国連大会）



④ の写真（ワンワールドフェスティバル）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input checked="" type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 土曜授業・校内での公募)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

ユネスコ協会連盟・ACCU・外務省のホームページ

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

教育課程上には特に位置づけられていないが、総合的学習および、土曜授業の一部で実施している。学校全体としては、集会や防災訓練、文化祭等で取り組みの報告等を行っている。
国際交流や東北支援活動の実践対象者は、全校生徒に募集をし、応募した生徒を選考し、事前研修・事後研修・全校集会での報告等を行っている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

学校教育計画にユネスコ・ESD を掲載。
生徒手帳にユネスコスクールに関する項目を入れ、ESD パスポートの説明と記録を設定している。昨年度までは職員の任意団体でおこなっていたが、校内の国際交流委員会にユネスコ・スクール活動を位置づけた。
学校ホームページにユネスコスクールのページを開設している。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校教育計画記載しており、外部の評価が求められるため、学校協議委員会へ実践報告等を行っている。
内部においては、アンケート等の実施が必要との認識にある。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

大阪ユネスコ協会へコーディネーターを派遣しており、2017年度大阪の活動報告冊子の編集に携わり、本校としても4本の活動報告・特別報告を掲載し、大阪のユネスコスクールに配布されている。また、学校ホームページにおいて、ユネスコスクールのページを開設し、生徒・教員による活動報告を随時行っている。
これらの活動から、2017年度は舞鶴ユネスコ協会から依頼を受け、研修会及びパネルディスカッションへ教員1名と生徒2名を派遣した。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

大阪府ユネスコ連絡協議会へコーディネーターを派遣し、定期的に会議を行っている。また大阪府ユネスコ連絡協議会主催のESD体験発表に毎年参加し、他校の生徒たちと交流・研修を行っている。
東北支援活動を通して、相互派遣を行う中で、地元自治体や、地域コミュニティ・地元企業と連携が取れた。アジア友の会主催のアジア・ユースサミットの参加により、ネパールで支援活動を行っているNPOと連携し、生徒2名をネパールでのスタディツアーに派遣した。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

大阪府内のユネスコスクールと、定期的に会議をもち、12月には生徒による報告会・交流会を実施している。本校の諸活動においては、他のユネスコスクールの協力や共同によって実施しており、生徒間の交流等も重視している。結果的に、アジアユースや、ネパールへの派遣事業などに展開されている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

高校においてなかなか実践が難しい、生徒自身による国際交流・国際協力の企画が行えていることと、他校の中学・高校生と積極的に交流することの大切さを生徒たち自身がもてるようになってきている。
特に、模擬国連会議や民間団体主催の国際交流企画・生徒派遣事業等に生徒が各自で参加するなど、自主的に外部の団体の活動に関わる姿勢が高く評価される。

(3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

4月 1年総合学習 防災・減災～阪神淡路・東北より学ぶ～
5月 東北支援活動参加者公募／土曜講習 ESD 講座防災・減災について
6月 土曜講習 防災・減災（神戸震災遺構フィールドワーク）
7月 土曜講習 防災・減災（新聞社）／東北支援活動ボランティア派遣
8月 ACCU 全国教育模擬国連大会 運営委員派遣
9月 文化祭 防災・減災 パネルディスカッション
10月 関西模擬国連会議
11月 ACCU 全国模擬国連大会
12月 大阪ユネスコ協会 ESD 報告会
1月 土曜講習 多文化共生に関するフィールドワーク（鶴橋等）